

第1回 羽村市まち・ひと・しごと創生計画懇談会 グループディスカッション

2015/06/25 203・204会議室

グループ	議論内容	懇談会での発表(要約)
<p>大和田委員、岡委員、折原委員、小林委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家が増える。→人口が増える。／子供が増える。 ・1つの家で3世帯が暮らせる。 ・土地が少ない、高い。 ・子供を町内会のような所で育てていく。 ・羽村市の人はあたたかい。 ・後継者を育てていく。 ・羽村にもう1度帰ってくるような町。→家を建て替えて、もう1度帰ってくる時代がくるまで難しい。 ・若い人の好む物、店をおく。 ⇄ 自然を活かした高齢者も住みやすい所にする。 ・ハートを羽村市がよく使う。 ・PRする。 → 若い人の意見を入れる。 ・通年で人が流れてくるようなしくみ。(チューリップ、サクラ、まつり) ・若者が集まるイベントを増やす。 ・羽村からの転出をふせぐ／なくす。 ・“税金を減らす”など露骨なものでも、分かりやすいメリットをつくる。 ・工場？観光？何か1つにしぼって力を入れるべき。 ・力を入れるべき所「住む」出て行く人が0(ゼロ)の町、帰ってくる町、イベント・しくみづくり・住みやすい町。補助金 	<p>【テーマ:転出をなくすにはどうしたらいいか】</p> <p>何かメリットがなければ、人は残らない。 長期居住者への建て替えの際の費用負担、Uターン者へメリットのあるような対策をとり、親子3代で羽村市に残ってもらう。 羽村市で暮らし続けたいと思えるような町を築けるとよい。</p>
<p>井手委員、山本(三)委員、池田委員、田嶋委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・データは「そうですね」という感じ。 ・市の施策の方向性 施策1「近隣自治体へ若者が流出している「人の流れ」を変え、人口流出を抑制する」 →人の流れをかえることができるでしょうか。 魅力的なお店がない？ 働きに来ている。 工業団地がある。 昼間人口がない。 → JRの乗降数を検討。 → 働きに来ている人を住民にするにはどうしたらいいか。1日に14,000人が流出(H22)。+通学者695人 東芝青梅工場、日立 → 減少傾向 日野自動車なども女性の職場 西口区画整理を進めてほしい。 昼間(人口)53,000人がいる。 「どの領域にしぼったらいいか」 施策4「市の魅力を効果的に発信することで認知度を向上させ、来街者の増加につなげる」→羽村市の魅力をアピール。 施策1「近隣自治体へ若者が流出している「人の流れ」を変え、人口流出を抑制する」→昼間仕事で来ている人の定住化。 	<p>【テーマ:市の示す4つの施策の方向性について】</p> <p>①人の流出市外から羽村市に来ている人が羽村市に定住できるような方法を考えることが大事。 ②羽村の魅力のアピールし、羽村市にいたいと思ってもらえることが大事。 ③羽村市にUターンしたくなるような町にしていく。 ↓ そのためには・・・ 駅西口の区画整理が必要。(道路含む) 商業施設などがあれば町はにぎわう。 ※目に見えて改善していくことが居住者にとって活力につながる。</p>

第1回 羽村市まち・ひと・しごと創生計画懇談会 グループディスカッション

2015/06/25 203・204会議室

グループ	議論内容	懇談会での発表(要約)
<p>勝山委員、 高橋委員、 寺島委員、 清水委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こども病院がないことが子育て世代の流出の原因。 ・特別な魅力がないことが若い人が少ない要因。 ・産業集積、商店街が少ない。 ・RESASの活用を。 ・青梅線の直通を増やす。 	<p>【キーワード:住むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを対象とした病院の少なさ、商店街に活気がない、青梅線の直通がなく不便であり改善したい。 ・活気ある産業があり、子育てをしながら収入を得られる町になるべき。 ・RESASを活用し、人口増を考える。
<p>中村委員、 宇津木委員、 山本(哲)委員、 羽村委員</p>	<p>【立脚案】 住民定着が高い。 女性・子育て世代 → 流出。抑制する力。 市の魅力あるか。あるという前提でなく。 → バラバラであろう。</p> <p>【魅力】 税金案/水/見守り → としより 子どもをしかるおじさん、コミュニティ 既存のものにキラコンテンツがない。メリット</p> <p>【ターゲット】 子どもを育てる人がいなくなる うめるところ → 女性、子育て世代。 羽村で家を持つ不安。(定住、将来の不安)</p> <p>海外vision ※立川の場合 モノレール、駅前商業化、買い物に便利、ららぽーと、立飛跡地、地域活性化、地理的にハブst</p> <p>【イオンタウン】 → 人口がどのくらい動くか。まちの魅力はなくなるか。周辺との差別化にはならない。 ・市民 → 人口増の期待はある。農地減の不安(建売業者)</p> <p>地元の人、働く人、遊びに来る人 : どれを伸ばすか。 職・住・近接というメリット。工場の減っていくつらさ(HOYA、国際電気 他)、小作</p> <p>【買い物の場】 人口増に。豊田 3,000万で家を買うとして、人口が減ってきて土地が下がる。 チョイス</p> <p>【教育環境・就職】 都内へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とどまるしくみ ・合計特殊出生率のアップ <p>【モール】 商店街ー農業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①羽村市で働く人を増やすこと ②羽村市に買い物や遊びに来る人を増やす ③居住者を増やす。 <p>上記3点でクローズアップし、色をつけていくことが有用。 羽村市での子育てを選択する際に特徴的な魅力がない。子育て環境としてまだ施策として未着手の部分に分かり易いカラーで魅力あるコンテンツを作り、その上で情報発信するプロセスが必要。 コンテンツを作ること、情報発信の整理をして提案につなげる。</p>